

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	利用者様の急変時や事故発生時の医師への報告が上手く行えていない。統一した報告ができていない。また、指示受け後の伝達が上手く行えていない。	全職員が統一した報告をすることができ、職員へ伝達できるようになる。	①医師への報告時、統一した報告ができるよう、記入用紙を作る。 ②医師からの指示受けの記入用紙を作る。 ③急変時や体調不良時を想定し、記入の仕方等の報告訓練を行う。	4か月
2	47	体調の変化や病状により、服薬内容の変更が多く、把握できないまま、処方になった薬を提供したり、その方に合った服薬方法がマニュアル化できていない。	服薬内容を把握し、統一した服薬介助ができるようになる。	①各利用者様の薬の飲み込み等の現状を把握し、形状等、提供方法をマニュアル化して統一する。 ②各利用者様の服薬内容がわかるよう、一覧表を作成し、すぐに確認できるようにする。	2か月
3	48	目や耳が不自由な方で、他者との関わりが少なく、孤立している場面や、何もしないで一日を過ごされることがある。	孤立感を軽減し、活動できる場面を作る。	①出勤時は、全利用者様に挨拶をして回る。 ②好きだった事を踏まえて、手を触り、触れ合ったり、側に寄り添い、手や肩のマッサージ等でスキンシップを図る。 ③できる事を一緒に行い、労いの言葉をかける。	3か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	○日常的な外出支援 入居者様より外出希望があるが、一人ひとりの外出支援ができていない。	入居者様の希望を聞き、外出計画を立てて支援する。	・入居者様一人ひとりの歩行状態に合わせて、ホーム周辺の散歩を支援する。 ・個別外出計画、行事での外出の計画を立て、外出支援する。 ・場合によっては家族様に協力していただく。	6か月
2	40	○食事を楽しむことのできる支援 食事の準備、片付けができる入居者様がいるのに、職員が代行していることが多い。特定の人になりがちである。	職員と入居者様が一緒に食事の準備や片付けをすることができる。	・1日1回以上、入居者様と一緒に食事の準備、片付けを行う。 ・入居者様のレベルに合わせた活動を提供する。	6か月
3	38	○入浴を楽しむことのできる支援 3日に1回の入浴のペースになっている。業務の都合上、1日に3～4人の入浴が限度である。個人の入浴希望にあまり対応できていない。	入浴希望者が当日入浴できるようにする。	・入浴希望があった時は優先的に支援する。 ・勤番者と連携して入浴できる体制を整える。	6か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。